

飯田自然エネルギー大学 学校案内

1、概 要

本校は、2004年から太陽光発電事業等の再エネ事業に取り組んでいる、おひさま進歩エネルギー株式会社（長野県飯田市）が2016年に設立しました。

主 催：一般社団法人飯田自然エネルギー大学

学 長：諸富徹教授（京都大学大学院経済学研究科）

主会場：おひさま進歩エネルギー株式会社（長野県飯田市）

2、目 的

・本校は、太陽光や水力、バイオマス等の地域資源を生かし、住民や地域事業者が主体となる再生可能エネルギー事業（以下、再エネ事業）、新電力など地域のエネルギーマネジメントに従事する人を育てる、学びと実践の場です。

・全18回の授業で、地域主導型エネルギー事業に必要な幅広い知識を習得して、事業推進力を養います。

・全国各地で実践者を増やし、地域の脱炭素化と、持続可能な地域づくりが進むことを目指します。

3、実施内容

（1）カリキュラム

監 修：諸富徹学長、おひさま進歩エネルギー株式会社

- ・講義と実地研修、事例研究（事業計画づくり）で構成する全18回の授業を行う。
- ・講師は、再生可能エネルギー研究者、金融・法律の専門家、エネルギー事業者等を迎える。
- ・講義ごと、講師が出題する課題レポートを事前提出する。
- ・実地研修は、長野県内の事業現場や先進事例を訪問する。
- ・事例研究は、受講生の事業構想をもとにグループワークで事業計画を作成する。
- ・最終授業は、受講生全員が自身の事業計画を作成して発表する。

（2）講 師

諸富徹(京都大学大学院経済学研究科 教授)

高橋洋(都留文科大学地域社会学科 教授)

竹濱朝美(立命館大学産業社会学部現代社会学科 教授)

東愛子(尚絅学院大学社会部門環境構想学科 准教授)

安田陽(京都大学大学院経済学研究科 特任教授)

木村啓二(大阪産業大学経済学部 准教授)

相川高信(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)

荒川忠一(東京大学 名誉教授)

おひさま進歩エネルギー株式会社

※予定者含む。カリキュラムはこのほか、行政・事業者講師、再エネ事業現場の実地研修で構成します
(第3期カリキュラムを参照ください)

(3) 主会場

おひさま進歩エネルギー株式会社（長野県飯田市鼎下茶屋 2242-2）

本大学は、①講師と受講生の対面による双方向の学びの場づくり、②再エネ事業現場を訪問して関係者と直接意見交換する現場主義、③地域の脱炭素化を担う人材の仲間づくりを重視して、原則として主会場で対面開催します。

- ・授業内容により主会場での対面開催、オンライン講義を組み合わせて実施します。
- ・実地研修での事業現場の訪問など、他会場で行う場合があります。

(4) 開催日程および授業内容

- ・月1回ペースで全18回授業を開催。
- ・授業は1回につき2日間（土曜PM・日曜AM）。
- ・講義は1日につき90分×2コマ。講義、講師・受講生の双方向授業（ディスカッション、質疑応答）で構成。

【授業日程】※第1年次（第1回～第9回）

■第1回 2022年10/22（土）-23（日）

10/22（土）AM オリエンテーション（カリキュラム、授業運営、自己紹介）

PM 入学式

諸富徹(京都大学大学院地球環境学堂/経済学研究科 教授)

講義「持続可能な地域／まちづくりと再生可能エネルギー事業
～地域付加価値の創出と地域経済循環に向けて～」

10/23（日）AM 事業者講師による講義①

菅沼利和（おひさま進歩エネルギー(株)代表取締役）

講義「地域に根差した再生可能エネルギー事業の意義」

海部岳裕（飯田まちづくり電力(株)取締役）

講義「自然エネルギーで地域を元気に」

■第2回 2022年11/19（土）-20（日）

11/19（土）PM 高橋洋(都留文科大学社会学科 教授)

講義「再生可能エネルギー総論」

11/20（日）AM 事業者講師による講義②

■第3回 2022年12月中旬

土曜 AM 講義「需給バランスと電力小売事業」

日曜 PM 事業者講師による講義③

■第4回 2023年1/22（土）-23（日）

1/22（土）PM 事業者講師による講義④

1/23（日）AM 東愛子(尚絅学院大学社会部門環境構想学科 准教授)

講義「電力市場設計」

■第5回 2023年2月中旬

- 土曜 AM 安田陽(京都大学大学院経済学研究科 特任教授)
講義「再エネ大量導入時代の電力システム工学」
日曜 PM 事業者講師による講義⑤

■第6回 2022年3月中旬

- 土曜 AM 木村啓二(大阪産業大学経済学部 准教授)
講義「再エネ各論：太陽光発電事業」
日曜 PM 実地研修①

■第7回 2023年5月中旬

- 土曜 AM 相川高信(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)
講義「再エネ各論：木質バイオマス事業」
日曜 PM 実地研修②

■第8回 2023年6月中旬

- 土曜 AM 荒川忠一(東京大学 名誉教授)
講義「再エネ各論：風力発電事業」
日曜 PM 実地研修③

■第9回 2023年7月中旬

- 土曜 AM 小林久(茨城大学 名誉教授)
講義「再エネ各論：小水力発電事業」
日曜 PM 実地研修④

(5) 課題レポート

- ・事前学習として毎回、講師が出題する課題レポートを締切日時までに提出する。
- ・講師がレポート評価を行い、評価通知書を発行する。

(6) 修了証

2年間のカリキュラム修了時、一定の要件を満たした受講生には、飯田自然エネルギー大学を修了したことを証明する「修了証書」を発行する。発行条件は下記の通り。

- ①全18回の授業の出席率が7割以上
 - ②講義前に出題される課題レポートの未提出が2回以下
- ※発行要件を下回っても退学になることはありません

(7) 欠席時の支援

やむを得ず欠席の場合、講義資料の送付や、授業の記録映像の視聴等で学びを支援します。

(8) 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスの感染防止対策として、長野県及び飯田市の感染対策に準拠して、授業の内容や開

催方法を変更する場合があります。変更が生じた場合、速やかに通知します。

(9) オンライン授業の注意事項

オンライン授業は、動画視聴や大容量データの送受信を行うため、受講生自身で通信環境を確保してください。

【通信データ量目安】

・講義 1 コマ×90 分=0.5 G B 前後。授業は月 1 回開催で、講義 2 コマ×2 日間（合計 4 コマ）構成です。

4、受講料・費用等について

(1) 受講料

受講料：1 年次（授業 9 回）につき 5 万円

※受講料は、各年次の授業開始前に全額納付

(2) 交通・宿泊費

受講生が各自負担する。

(3) 課題テキスト

受講生が課題レポートのテキスト購入を希望する場合、各自負担する。

(4) その他

長野県飯田市及び下伊那郡在住者は、飯田まちづくり電力(株)による受講料補助対象（一部補助）となります。

【申込み・お問合せ】

一般社団法人飯田自然エネルギー大学

〒395-0802 長野県飯田市鼎下茶屋 2242-2（飯田商工会議所鼎支所 1F）

電話 0265-56-3713 / F A X 0265-56-3712

メール support@enedai.jp

担当 伊藤、菅沼